




# 審査結果報告書

平成 26 年 / 月 22 日

主 査 氏 名 岩 渕 和 也 

副 査 氏 名 海 野 信 也 

副 査 氏 名 岡 田 信 彦 

副 査 氏 名 高 山 陽 子 

1. 申請者氏名 : 松井 秀仁
2. 論文テーマ : B群溶血性連鎖球菌検出イムノクロマト法の確立と臨床応用

### 3. 論文審査結果 :

申請者は、B群溶血性連鎖球菌（GBS）を迅速簡便に検出可能なキットの開発研究を行った。血清型によらずGBSに特異的に発現するSurface immunogenic protein (Sip)を標的抗原として単クローン抗体3種を得、このうち最適の2種の組合せによりイムノクロマト（ICT）法を構築した。増菌培養後の検体を用い、調べた全ての血清型のGBSを検出可能で、且つ他の病原微生物検体とは反応しない高感度（Sip検出限界0.5 ng/ml）・特異的なキットを確立した。本研究は新生児に髄膜炎や敗血症を惹起し、特に早産症例で問題となるGBSの迅速・簡便な検出を可能とした重要な研究である。発表後副査の海野教授より、GBSの溶血性・非溶血性と臨床的重症度の関連、抗原としたSipのGBSにおける機能について、また岡田教授より、使用培地の特性、色素産生と溶血性の関連、抗Sip抗体の感染防御効果について、高山准教授より、GBS血清型IXおよびGBS死菌の検出性、*Candida spp*との交差性について、主査の岩渕より、開発したキットによるスクリーニング法の普及に関する質問がなされ、申請者はそれぞれに概ね適切な回答を行なった。

審査員一同は、これらの成果を高く評価し、すでに承認された申請条件審査の結果、研究期間における研鑽と発表論文内容も併せ、申請者が博士（医学）の学位を受けるのに十分な資格を有するものと判定した。